

継続し続けたことで知り得たもの

上田こころ
武井歯科クリニック

抄録

マイクロスコープを用いた診療を始めたきっかけは、いくら勉強しても拭うことが出来ない“取り残していないか”や“傷つけていないか”という不安からだった。当然ながら使いはじめの頃は、接眼レンズを覗けば覗くほど自分の仕事の粗が見えたが、私や自院を信じて来院して下さる患者に対して、自分は間違っていないことをしていると思いたかったし、自分が“拡大視野で診療をしている”という事実で安心したい気持ちもあった。様々な感情が交錯しつつも、とにかく継続して使い続けた。長年この仕事を続けていると、誰もが1度は“見逃し”という失敗を経験したことがあるに違いない。自身も使っていたのにもかかわらず、見逃してしまった自分を恥じることや、また患者に申し訳なく思ったりすることが過去にはあった。そのような経験を経て、どうすれば見逃さなくなるかを考え、そして自分なりに“見る”ための工夫をしてきた。使っていなかったあの時、使い始めて間もないあの頃、そして見逃して失敗したあの日も、今の自分にとって大切なステップだったのだと今は感じている。今回のシンポジウムでは、“継続し続けたことで知り得たもの”を皆さんにお伝えできればと思う。

略歴

2002年 群馬県高等歯科衛生士学院 卒業

群馬県内歯科医院勤務

2004年 医療法人こたけ会武井歯科クリニック勤務

2011年 Clinical Microdentistry Introduction Course講師

2017年 日本顕微鏡歯科学会認定歯科衛生士